

対象疾患	肝細胞がん
使用する治験薬	レンバチニブ（マルチキナーゼ阻害剤）＜経口＞ ペムブロリズマブ（抗 PD-1 抗体）＜注射薬＞
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：レンバチニブ+ペムブロリズマブ+TACE</p> <p>B 群：プラセボ(経口)+プラセボ(注射)+TACE</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群、B 群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 画像診断学的、組織学的又は細胞学的に肝細胞がんと診断されている 2) 根治的治療（切除、焼灼、肝移植など）ができない 3) C 型肝炎にかかったことがある、かかっている方の場合、治験薬投与開始 1 ヶ月前までに治療が完了している 4) B 型肝炎にかかっている方の場合、コントロールできている 5) 高血圧治療薬の使用有無を問わず、血圧がコントロールできている 6) 臓器機能が保たれている 7) 6 ヶ月以内に食道又は胃の静脈瘤出血がない方 <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	消化器内科 山下 竜也
治験依頼者	M S D 株式会社
備考(企業 HP 等)	